

第2分科会

研 修

第2分科会 研修に関する事情聴取の集約結果

主題 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上に向けた研修の取組
 -特別支援学級の専門性の向上-

1 特別支援教育を推進する教員(コーディネーター等)を対象とした研修の工夫と課題

(表中の値は機関数、工夫は5つまで重複回答)

【工夫した点】

内容	工夫した点											計
	① 演習と協議を実施	② 実授業参観や実践発表	③ 工事例検討会の実施・	④ 化コースやテーマの分	⑤ 研該当職務の新任者の	⑥ アップ研修の実施	⑦ 実地域・地区別の研修	⑧ 校種別の研修実施	⑨ 異校種間の実践交流	⑩ 焦点化	⑪ 現状の把握と課題の	
特別支援教育コーディネーターの養成	41	11	18	6	25	18	7	16	12	10	5	169
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	30	2	13	4	10	14	3	2	3	4	2	87
特別支援学級担当者の指導力向上	44	30	14	13	36	19	9	8	5	9	6	193

※その他(内容)

- ・新任特別支援教育主任研修
- ・特別支援教育コーディネーターの専門性向上
- ・経験年数別の研修

※その他(工夫した点)

- ・タブレットPC活用
- ・オンライン研修
- ・他機関と連携した研修会の実施
- ・外部専門家による講座の実施
- ・特別支援教育におけるICT活用

・訪問研修の実施及び指導助言

- ・障害種別の研修の実施
- ・研修動画作成
- ・福祉機関との連携
- ・専門性の高い内容実施
- ・希望者によるオンライン研修の実施

・eラーニング

- ・実践発表者を交えた情報交換
- ・著名講師による講義
- ・研修形態の工夫
- ・実施方法
- ・障害種別

【課題】

内容	課題											計
	① 義ニーズに 演習に 内容に 対応した 設定	② 受講対象者の 力量差	③ 合研修者の 研修体系に	④ ルリアル アップ研修の 実施スキ	⑤ 研幼 修稚園、 高対象の	⑥ 率受 的講者 増加に伴う 効	⑦ 実地域・ 地区別の 研修	⑧ と研修 内容に ついて 地教委等	⑨ 還元 について の評価	⑩ 指導者・ 講師の 確保	⑪ その他	
特別支援教育コーディネーターの養成	24	24	14	15	6	10	8	20	5	2	0	128
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	16	18	9	7	2	5	3	13	8	0	0	81
特別支援学級担当者の指導力向上	24	30	14	14	4	30	11	17	13	3	1	161

※その他(課題)

- ・ウェブ会議サービス(Zoom等)を活用した研修における協議方法の工夫
- ・校内体制の整備
- ・研修体制

- ・モデルとなる授業提案
- ・臨時的任用者の力量向上

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

(表中の値は機関数、内容は3つまで、工夫は5つまで複数回答)

【工夫した点】

内容	工夫した点											計
	① 演習と協議を実施	② 実授業参観や実践発表	③ 工事例検討会の実施・	④ 化コースやテーマの分	⑤ 研該当職務の新任者の	⑥ アップ研修の実施	⑦ 実地域・地区別の研修	⑧ 校種別の研修実施	⑨ 異校種間の実践交流	⑩ 焦点化	⑪ 現状の把握と課題の	
通常の学級における発達障害の理解と支援	19	8	5	9	2	6	5	2	2	8	1	67
新任特別支援学級等担当者研修	21	15	5	9	13	2	4	5	3	8	5	90
通級指導教室専門研修	18	14	8	8	11	3	1	5	4	3	4	79
特別支援学校対象の専門的研修	12	7	3	1	3	3	0	2	2	4	0	37
特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座	12	9	2	4	0	8	0	1	0	2	2	40
特別支援教育全般の専門研修	14	2	4	8	1	2	0	0	6	4	1	42
特別支援教育の今日的課題	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	6	11
心理検査の実施と解釈	3	0	2	0	0	3	0	0	0	1	0	9
通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり	6	5	0	1	0	0	2	0	2	5	2	23
幼稚園や高等学校に特化した研修講座	2	2	2	0	2	0	0	1	0	2	2	13
その他	3	2	2	0	0	1	1	0	1	1	1	12

【課題】

課 題 内 容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	計
	義・ニ ・演 習に 内容 の設 定	受 講 対 象 者 の 力 量 差	合 研 修 者 の ニ ー ズ に	ル レ ア ッ プ ア ッ プ の 実 施	研 修 実 施 幼 稚 園 、 高 校 対 象 の	受 講 者 増 加 に 伴 う 効 率 的 運 営		と の 調 整 ・ 連 携	受 講 成 果 の 地 域 、 各 校 で の 評 価	指 導 者 ・ 講 師 の 確 保	そ の 他	
通常の学級における発達障害の理解と支援	21	20	6	9	8	13	1	11	15	3	0	107
新任特別支援学級等担当者研修	9	12	7	6	2	14	1	8	10	1	3	73
通級指導教室専門研修	11	12	10	9	6	0	3	8	10	3	0	72
特別支援学校対象の専門的研修	9	4	6	4	0	4	0	3	7	0	0	37
特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座	12	12	4	5	1	3	0	4	7	2	0	50
特別支援教育全般の専門研修	6	5	3	2	1	2	1	1	2	2	1	26
特別支援教育の今日的課題	1	0	3	1	2	1	0	2	3	0	0	13
心理検査の実施と解釈	2	2	1	2	0	1	1	1	2	0	0	12
通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり	10	6	3	3	6	4	0	4	8	2	0	46
幼稚園や高等学校に特化した研修講座	3	2	2	0	1	1	0	5	3	0	0	17
その他	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	6

※その他

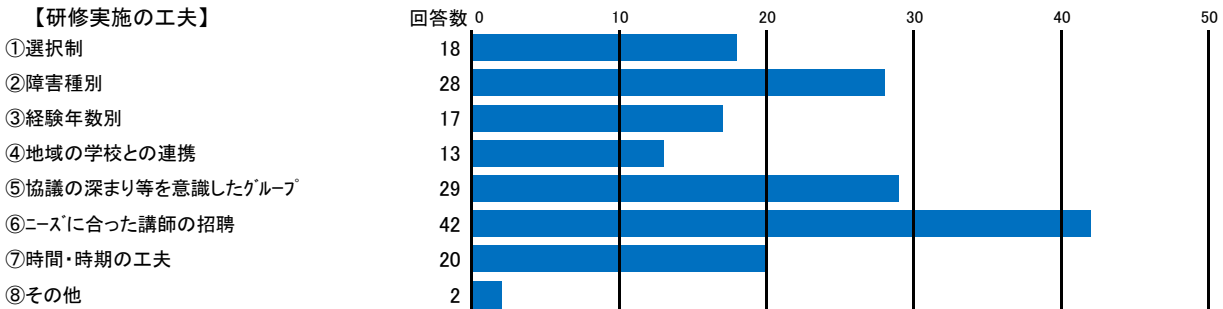
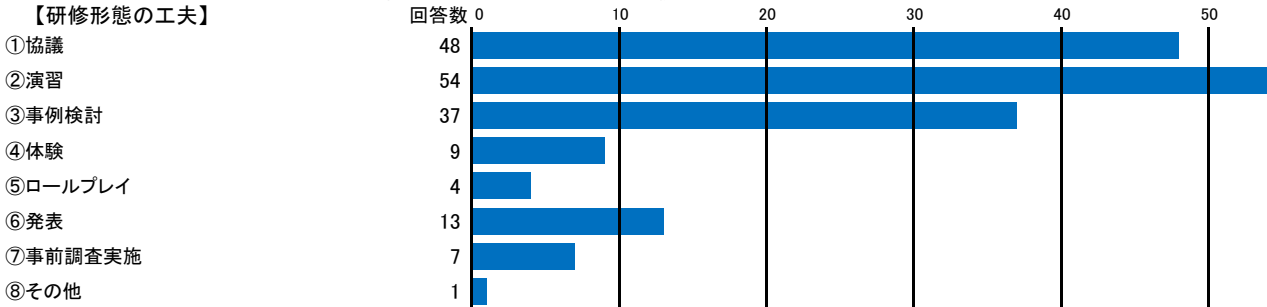
- ・オンデマンド、リモート、集合の組み合わせ
- ・リモート、集合の組み合わせ
- ・時間設定

- ・障害のある子どもの学びを広げるICT活用講座
- ・視覚障害
- ・管理職対象特別支援教育の推進

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

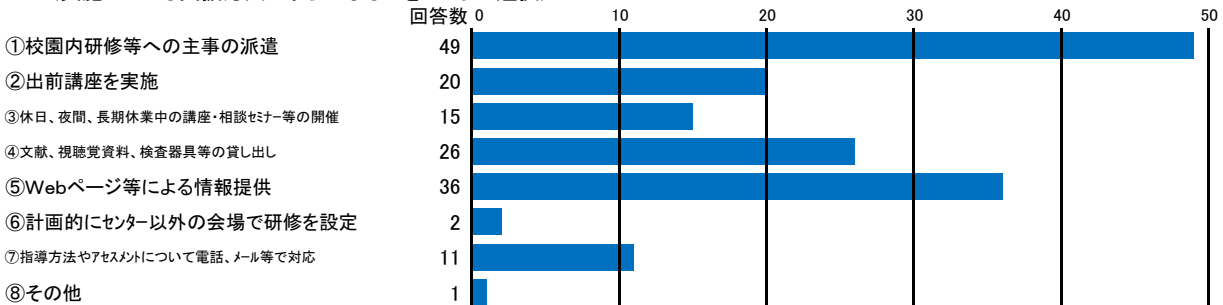
(1) 研修の効果的な在り方

(講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項3つ選択)



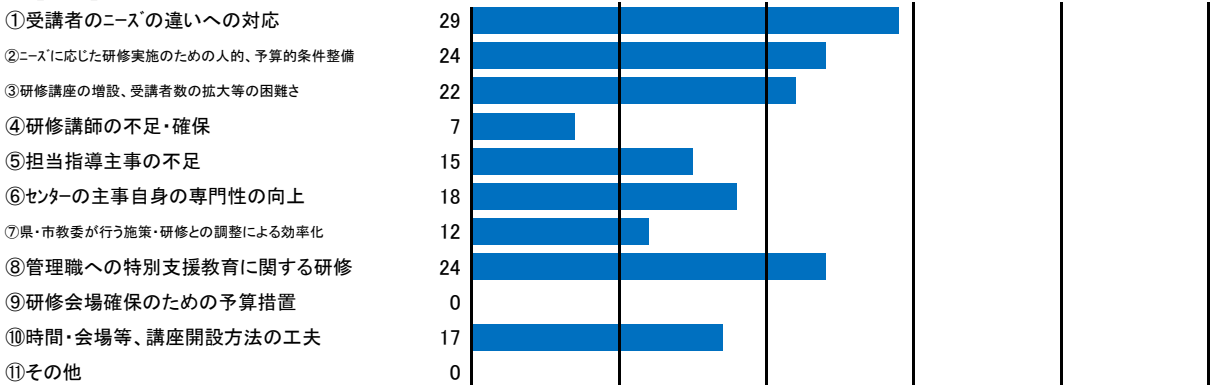
(2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

(実施している支援方法のうち主なものを3つまで選択)



4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

【課題】



【今後考えられる方策】

①研修内容及び講師選定の工夫

- ・ 本道の特別支援教育における施策の方向性を踏まえ、受講者が研修をととして学んだことを自校や地域に還元できる研修内容の設定
- ・ 研修講座のねらいを焦点化し、研修内容(講師選定を含む)を設定する
- ・ 研修者のニーズを踏まえた研修内容の検討、講師の選定
- ・ 通級指導教室の新担当者を対象とした研修
- ・ 受講者のニーズに合わせた講座を多く準備する
- ・ 受講者のニーズ、抱えている課題の背景等の調査・分析に基づく研修内容等の設定
- ・ 来年度以降もオンライン研修を取り入れることで、全国から講師を招聘することができる
- ・ 研修内容によって、オンデマンドの活用等を取り入れ、ハイブリッド研修を実施する予定である
- ・ 関係諸機関と連携した情報収集及び若手講師の育成や発掘を図る
- ・ 国や県の動向を含めた概論的講義と学校現場における実践発表やグループ協議等を織り交ぜた、受講生の専門性を高めつつ主体的に取り組む研修内容の工夫
- ・ 受講者のニーズに応じた研修講師の選定
- ・ 研修講座に、NITSやNISE等の研修動画の活用
- ・ ニーズを把握するためのアンケート実施、講師選定に向けた情報収集
- ・ 受講者のニーズの把握、県教委主催の研修との内容調整
- ・ 研修後アンケート結果等から受講者のニーズを把握し、次年度以降の講座を構築する
- ・ 特別支援学校対象の講座を障がい種別に構築する
- ・ 喫緊の課題と受講者のニーズを敏感に察知し、研修内容に反映する
- ・ より受講者及び期待する研修成果の達成に向けた講師選定
- ・ 本県の教育課題及び受講者のニーズに即した研修内容の企画
- ・ オンラインを積極的に活用し、受講者のニーズに合った講師を招聘すること
- ・ 学校講師選定においては、経年研での様子から、また、外部講師選定においては、聞き取りなどから行う
- ・ 夏休みの特別支援教育に係る校内研修として、複数の学校がオンラインで参加できる内容(困難さに応じた指導・支援について)
- ・ 研修内容のニーズ、業務に関する課題等について、学校訪問等の機会を捉えて特別支援教育コーディネーターから担当域内に関する情報収集を実施
- ・ 時代やニーズに合った研修内容及び講師の選定
- ・ 受講者同士の協議や演習など、体験を伴う研修を実施するとともに、受講者のニーズを把握し、講師選定に生かす
- ・ 様々な研修形態に対応し得る研修コンテンツ・研修内容の整備及び所外の研修コンテンツの有効活用
- ・ アンケート結果を考察し、研修者のニーズに応じた研修内容にする
- ・ インクルーシブ教育の推進に関する研修
- ・ 学びやすいカテゴリー(障がい種別など)で研修講座を組み立てる
- ・ 受講者の特別支援教育経験年数及びスキルによって研修内容の工夫
- ・ 受講者参加型のワークを多く入れて、専門性の向上を図る
- ・ 特別支援教育のICTを活用した教材・教具の実践例と演習についての研修の実施
- ・ 受講者のニーズにマッチした研修内容や体系の構築
- ・ 専門家チームによる巡回指導を活かした教員の教育実践サイクルの促進
- ・ 教育センターと事務局(指導課)との連携による講師選定

②他機関との連携

- ・ 保健福祉部と連携した研修会の実施
- ・ 通級指導教室の新担当者を対象とした研修(課・事務所等による地区別の開催)
- ・ 県や市教委、関係機関と研修内容等が重ならないよう、連携しながら実施する
- ・ Nitsの研修動画の活用等、受講者が選択して特別支援教育に関する情報を得る機会を設定する
- ・ 県、市町教育委員会と連携した地域の課題やニーズに応じた研修
- ・ 京都府スーパーサポートセンターの実施研修等との連携及び区別化
- ・ 学校現場や教育行政との連携
- ・ 各教育事務所等の会議に参加し、県内の現状や課題について、また地域で実施している研修について情報共有を行う
- ・ 研修内容について、特別支援教育推進室(県教委)との情報共有

- ・ 他機関が実施している研修等の情報共有を行い、関連する研修について受講者に情報提供を行う。また、他機関が実施した講座の内容を把握し、講座に生かす
- ・ 特別支援教育課との事前協議
- ・ 市町教育委員会や教育事務所等と現場のニーズの情報共有を図り、研修内容の検討等を行う
- ・ NISE学びラボのコンテンツ活用と市独自の研修受講システムの両方の活用のための事務負担の軽減
- ・ 医療機関等との連携、講師派遣依頼
- ・ 児童相談所等福祉関係部門の担当者からの講義演習
- ・ 他機関のオンデマンドを利用した研修の導入
- ・ 相談支援チーム(教育委員会内各課、特別支援学校、発達支援センターなど)と連携して今日的課題に対応した研修を開くことが可能である

③研修形態の工夫

- ・ 研修講座等の目的及び内容に応じた「配信研修」、「遠隔研修」、「集合研修」の最適な組合せによる研修の実施
- ・ オンライン研修と対面による研修を効果的に組み合わせる
- ・ 集合、オンライン、オンデマンド動画視聴の効果的な取り入れ方の検討
- ・ オンラインによる研究協議、演習の実施
- ・ 通級指導教室の新担当者と担当者合同の研修
- ・ 誰もが学びやすいコンテンツ等の開発、環境整備
- ・ 集合型の研修において、来所が難しい受講者へのオンライン研修を行いハイブリット型の研修を継続して取り入れる
- ・ 集合型とオンラインなど、それぞれの研修効果を踏まえた形態の検討、実施
- ・ オンライン研修を積極的に取り入れ、講師数の精選及び教職員の負担軽減を図る
- ・ 対面研修、対面研修とZoomによるオンライン研修のハイブリッド研修、Zoomによるオンライン研修、録画によるオンデマンド研修といった様々な研修形態の工夫
- ・ 集合研修とオンライン研修の充実
- ・ オンライン等の活用や実施時期について検討
- ・ 講座において、効果的に演習や協議など取り入れる
- ・ 集合型、オンデマンド型、ライブ配信型等を目的に合わせて組み合わせ実施する
- ・ オンライン研修の有効な活用
- ・ 内容によってはオンライン、オンデマンドでの配信などを検討
- ・ 「教員のキャリアステージにおける資質の向上に関する指標」に沿って、今年度の研修について検証し、次年度以降の研修を整理・構築する
- ・ 集合とオンラインを選択して受講できる研修の実施
- ・ オンライン研修の充実
- ・ 特別支援教育に係る研修受講者は増加傾向にあり、インターネットを活用した研修支援の工夫やオンデマンド教材の充実
- ・ 現在、集合、遠隔、オンデマンド等の形態で研修を実施している。今後も、研修内容とともに、受講者のニーズに合った研修形態について検討する
- ・ 研修の目的等に応じて、集合研修、オンライン研修、オンデマンド研修等様々な研修を組み合わせ実施する
- ・ オンラインを利用したハイブリット型研修の選定
- ・ オンラインによる研修については、集合研修による実施の効果を検討し、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら効果的な研修を実施する
- ・ 集合とオンラインを組み合わせた研修形態の工夫を行う
- ・ 集合とオンラインを組み合わせた研修形態の工夫を行う
- ・ ハイフレックス※に対応した研修内容の整備
- ・ 受講者の特別支援教育に関する専門性の違いに対応する研修形態
- ・ 動画コンテンツを充実させる
- ・ 受講者の増加による研修形態の工夫
- ・ 理論編、実践編などニーズに応じた研修内容をオンデマンドで準備していきたい
- ・ 実際の研修においては、協議や演習などを多く取り入れる
- ・ オンラインでの実施
- ・ オンライン研修の実施と工夫
- ・ オンラインによる研修と集合式で実施する研修の併用について、効果的な内容と方法を検討する
- ・ オンデマンドと双方型を効果的に組み合わせた研修の開発
- ・ オンライン双方向の研修の充実

- ・ 移動時間の削減や勤務時間内の研修時間の確保という点で、オンデマンド研修やオンライン研修などを積極的に行う
- ・ オンデマンド研修やzoomでのオンライン研修などの効果的活用
- ・ 区単位で集合し、指導案検討や事例検討を行う研修
- ・ 集合、オンライン、中学校区ごとに集合してオンライン研修など、研修内容や効果に合わせて研修の形態を選択することが可能である
- ④指導主事の研さん
- ・ 講義等におけるプレゼンテーション及び協議等におけるファシリテーション能力を向上させるための所員研修の実施
- ・ 指導主事同士の事例検討を主とした研修，情報交換の定期的な実施
- ・ 学校支援や所内研修等を通じた研さん
- ・ 指導主事自身の研修の機会の確保
- ・ 外部研修への参加
- ・ 担当指導主事の専門性向上のための所内研修の実施
- ・ 全国特別支援教育センター協議会研究協議会の参加についても、研さんの一貫だと考えるため、指導主事の遠隔による参加を積極的に行う
- ・ センター内で自主研修を行ったり、他機関と情報共有を行ったりする
- ・ 最新の情報を収集したり、学校現場や教員のニーズを把握したりして、実践的な研修内容となるようにする。他機関が開催している研修会等に積極的に参加する
- ⑤その他
- ・ 他教科等の研修講座での特別支援教育の視点からの授業づくり研修

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1)Zoom等のテレビ(Web)会議システムを活用したオンライン研修実施状況

①実施している	55
②実施予定なし	1

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

①ある	43
②作成中	2
③検討中	5
④作成予定なし	6

(3) 公開している(公開予定の)「特別支援教育に関する研修コンテンツ」(複数回答可)

①ガイドブック等の冊子	39
②プレゼンテーション資料	21
③講義の動画	30
④デジタル教材(ダウンロード可)	11
⑤教材・教具のデータベース	17
⑥学習指導案のデータベース	16
⑦その他	4

- ・校内研修等を行う際に活用できる研修シート及び研修用動画を掲載した「校内研修プログラム」
- ・「単元構想シート」など授業づくりに役立つデータ
- ・当センターで実施しているプロジェクト研究の研究報告書
- ・文部科学省、国立特別支援教育総合研究所の資料等のURLをアップしている

(4) オンライン研修について、対応している規模

①10人以下	0
②10～50人	4
③50～100人	14
④100～200人	13
⑤200人以上	24

(5)(上記で挙げたオンライン研修)実施方法

①Zoom等の同時双方向型	30
②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ	19
③YouTube等のオンデマンド	4
④その他	1

- ・同時双方向型とオンデマンドの組合せ、オンデマンドと集合開催の組合せ

(6)(上記で挙げたオンライン研修)実施形態(複数回答可)

①講義・講演	55
②協議	38
③演習	33
④事例検討	11
⑤体験	3
⑥ロールプレイ	1

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの(複数回答可)

①遠方の方も参加することができる	54
②施設の収容数以上の方が参加することができる	42
③遠方から講師を招聘できる	44
④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる	13
⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる	46
⑥その他	3

- ・研修に係る移動時間が無くなる
- ・参加者のニーズを把握し、不明な点にピンポイントで助言できる
- ・特別支援学級等担任は子どもの実態から所属校を離れることが難しい場合が多が、移動時間が削減されることで可能な限り子どもとの時間を確保することができる

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの(複数回答可)

①受講者側の通信環境が不十分	34
②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分	28
③運営側においてICT等に係る専門分野の職員が不足	11
④運営側において通信環境を含む設備面が不十分	12
⑤受講者同士の交流の機会の不足	49
⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない	33
⑦その他	5

- ・対面での集合型研修に比べ、受講者の様子が十分に把握できない
- ・受講者への意欲喚起を含めた環境づくりを所属に任せることになる
- ・授業観察において、得られる情報の少なさ
- ・教材を紹介し合う、1つの指導案などをグループで練り合う、近隣の学校同士で情報交換する等が十分できない
- ・研修資料等の配付が不十分になる

(9)オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

・当センターでは、基礎的・基本的な知識や技能について、特別支援教育に関わる教職員及び教育委員会職員等を対象に提供する研修としてオンデマンドによる研修用動画「特センライブラリ」の配信を行うとともに、より課題解決に向けた深い学びを提供するための研修の場として、対面・オンライン双方の利点を生かした研修「研修パッケージ」を実施している。今後、配信用動画の拡充及び研修パッケージの一層充実を図る。

・特総研の「学びラボ」のいくつかのコンテンツをオンライン研修に位置付け、勤務校で受講させたが、評判はまずまずだった。集合型の研修で「学びラボ」のコンテンツを視聴し、簡単な解説を加えた方法の場合は、受講生の評価は若干下がった。講師の、個人的、具体的な経験や考え、思いを聞くことを期待していることを示唆する感想もあった。有効な活用方法について更に工夫していきたい

・オンライン研修の好事例を共有したい

・オンライン研修で使用する動画等の個人情報や著作権に関する取扱いについて

・島しょ地区等の教員が受講しやすい

・繰り返し視聴することができるため理解を深めることができる

・オンライン研修に関しては、メリットもありデメリットもあると考えられる。当センターにおいては、できるだけ参集による研修を考えている

・自校で研修に参加できることにより、急な子ども対応が求められることもあり、研修に集中できない状態も見受けられる

・オンライン研修(同時双方向型)実施状況 ・選択研修:全13講座のうち0回 ・初任者研修:全22回のうち1回

・中堅教諭等資質向上研修:共通研修全4回のうち1回

・オンデマンドで研修を実施する際、受講者の目的達成や教育活動にどのように活かしていくかなどの振り返りを行っているか

・受講者の感想より、対面での研修を希望する声がある

・市町ごとに使う会議システムが異なっている。県立学校のみの場合はMicrosoft TEAMS、幼稚園こども園含む小中学校はWEBEXを使うことが多い

・オンライン研修を実施する場合、班別協議や演習を行うことが難しい。受講者の人数によっては、実施可能だが、受講者数が多い場合、運営側の対応できる人数の都合により、実施できないことがあった。オンライン研修で協議、演習を行う際、どのような工夫をされているか、教えていただきたい

・有意義なオンライン研修の実施方法(例えば、講義はオンライン、協議は対面というようにお互いのメリットを生かした研修の在り方)

・受講者の理解度等を把握する方法(テスト等を実施しているか)

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
2	北海道立特別支援教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入り反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	⑤	⑨		⑧				
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③	⑥	⑩						
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤			⑩				
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	②	④	⑧	⑩						
⑥	①	③	④	⑨	⑩					
⑩	②	⑧	⑩			⑥	⑧			

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑦
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	④	⑤
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	②	③	⑩
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	本道の特別支援教育における施策の方向性を踏まえたうえで、受講者が研修をとおして学んだことを自校や地域に還元できる研修内容の設定
③	研修講座等の目的及び内容に応じた「配信研修」、「遠隔研修」、「集合研修」の最適な組合せによる研修の実施
④	講義等におけるプレゼンテーション及び協議等におけるファシリテーション能力を向上させるための所員研修の実施

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①、②、③、④、⑦
-------------------	-----------

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

校内研修等を行う際に活用できる研修シート及び研修用動画を掲載した「校内研修プログラム」

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	③50～100人
------------	----------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
------	---------------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①、②、③、④、⑧
------	-----------

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①、②、③、⑤
------	---------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

--

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①、⑤、⑥
-------	-------

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側においてICT等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

--

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

当センターでは、基礎的・基本的な知識や技能について、特別支援教育に関わる教職員及び教育委員会職員等を対象に提供する研修としてオンデマンドによる研修用動画「特センライブラリ」の配信を行うとともに、より課題解決に向けた深い学びを提供するための研修の場として、対面・オンライン双方の利点を生かした研修「研修パッケージ」を実施している。今後、配信用動画の拡充及び研修パッケージの一層充実を図る。

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
に向けた研修の取組

機関番号	機関名
3	青森県総合学校教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題			
特別支援教育コーディネーターの養成	①	⑤			②	④		
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	③	⑨			①	②		
特別支援学級担当者の指導力向上	①	③	⑥	⑩	①	②		
その他（ ）								

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（タブレットPC活用）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点				課 題			
①	①	⑩			②	③	⑧	⑨
⑦	①	②	⑩		②	③	④	⑧
⑨	①	⑩			②			

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑥
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	⑤	⑥	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	④	⑤
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	④	⑩
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	研修講座のねらいを焦点化し、研修内容（講師選定を含む）を設定する。
③	オンライン研修と対面による研修を効果的に組み合わせる。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①②⑤
-------------------	-----

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	③50～100人
------------	----------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①②③⑦
------	------

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②③⑤
------	------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①②⑤⑥
-------	------

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
に向けた研修の取組

機関番号	機関名
4	岩手県立総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力に反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
	①	③	④	⑥	⑧	①	②	③	⑧	
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかる専門性向上										
特別支援学級担当者の指導力向上										
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
	①	④	⑨			①				
⑥										
⑨										

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	⑤	⑥
---------	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	④	⑦
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	②	⑧
-----	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	研修者のニーズを踏まえた研修内容の検討、講師の選定
③	集合、オンライン、オンデマンド動画視聴の効果的な取り入れ方の検討

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	① ④
-------------------	-----

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	④100～200人
------------	-----------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	① ② ③ ④
------	---------

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	① ③ ⑤
------	-------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

--

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	① ② ④ ⑤
-------	---------

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側においてICT等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

事例を扱う際の守秘の徹底（研修者の研修環境含む） 著作権の問題

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

--

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
5	宮城県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力から反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	⑤	⑧	⑨	⑪	④	⑥	⑦	⑧	⑩
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③	⑪			②	④	⑥	⑧	
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤	⑨	⑪	④	⑥	⑦	⑧	⑩
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（オンライン研修）
 ⑫その他2（他機関と連携した研修会の実施） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（校内体制の整備） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
②	①	②	⑤	⑨	⑪	④	⑥	⑦	⑧	⑩
③	①	②	⑤	⑧	⑪	④	⑥	⑦	⑧	⑩
⑦	⑩	⑪	⑫			③	④	⑤	⑧	

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	③	④
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	③	④	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	②	⑤
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	③	⑥	⑧
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
②	保健福祉部と連携した研修会の実施
③	オンラインによる研究協議、演習の実施
④	指導主事同士の事例検討を主とした研修、情報交換の定期的な実施

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	③
-------------------	---

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	④100～200人
------------	-----------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	③YouTube等のオンデマンド
------	------------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①
------	---

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②③⑤
------	------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①②⑤⑥
-------	------

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

特総研の「学びラボ」のいくつかのコンテンツをオンライン研修に位置付け、勤務校で受講させたが、評判はまずまずだった。集合型の研修で「学びラボ」のコンテンツを視聴し、簡単な解説を加えた方法の場合は、受講生の評価は若干下がった。講師の、個人的、具体的な経験や考え、思いを聞くことを期待していることを示唆する感想もあった。有効な活用方法について更に工夫していきたい。

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
6	秋田県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	⑤	⑦			①	③	⑦		
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	⑩	⑪			①	⑧	⑨		
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③	⑤	⑦	①	③	⑦		
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（外部専門家による講座の実施）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（研修体制 ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	①	⑤	⑧			①	③	⑦		
③						⑩				
⑥	①	④				①	⑨			

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	③	④	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	②	⑤
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	②	③	⑦
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	通級指導教室の新担当者を対象とした研修
②	通級指導教室の新担当者を対象とした研修（課・事務所等による地区別の開催）
③	通級指導教室の新担当者と担当者合同の研修

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①
-------------------	---

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	⑤200人以上
------------	---------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①②③⑦
------	------

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①③④
------	-----

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

--

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①⑤
-------	----

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

--

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

--

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
7	山形県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①					③				
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①					③				
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③	⑤	⑧	①	④	⑥	⑨	
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	①					①				
②	①	②	③			①	③	⑥		
③	①	②	③			①	③			

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	②	③	⑥
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	③	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	②	⑦
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	②	③	⑥
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	受講者のニーズに合わせた講座を多く準備する。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	③検討中
----------	------

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①⑥
-------------------	----

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	③50～100人
------------	----------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①②③
------	-----

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①③⑤
------	-----

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

--

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	⑤⑥
-------	----

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

--

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

オンライン研修の好事例を共有したい。

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
8	福島県特別支援教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
	①	②	③	⑧	⑩	②	④	⑦	⑧	
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	④	⑥			②	⑦			
特別支援学級担当者の指導力向上	①	③	⑤	⑦		②	④	⑥	⑦	⑧
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
	①	④	⑥			⑩				
①	①	④	⑥			⑩				
④	①	④	⑥			⑩				
⑤	①	④	⑥			⑩				

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	⑤	⑥	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	④	⑤
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	⑤	⑧
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	受講者のニーズ、抱えている課題の背景等の調査・分析に基づく研修内容等の設定
③	誰もが学びやすいコンテンツ等の開発、環境整備

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①⑤
-------------------	----

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	②10～50人
------------	---------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
------	---------------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①②③
------	-----

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②③⑤
------	------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①②③⑤⑥
-------	-------

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
8	茨城県教育研修センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
	①	②	⑤	⑧	⑨	①	②	⑧	⑨	
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	⑥				①	②	⑧	⑨	
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤	⑦		②	⑥	⑦	⑧	
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
	①	②	⑦			②	⑥	⑦	⑩	
②	①	②	⑦			②	⑥	⑦	⑩	
④	①	⑤	⑥	⑩		②	⑥			
⑩	①	③	⑤			①	②	③		

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	④	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	③	⑤
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	③	⑩
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	来年度以降もオンライン研修を取り入れることで、全国から講師を招聘することができる。
③	集合型の研修において、来所が難しい受講者へのオンライン研修を行いハイブリット型の研修を継続して取り入れる。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①②④⑥
-------------------	------

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	⑤200人以上
------------	---------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①②③④⑦
------	-------

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②③⑤
------	------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	⑦
-------	---

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

対面での集合型研修に比べ、受講者の様子が十分に把握できない。

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上に向けた研修の取組

機関番号	機関名
10	栃木県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題（工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題			
特別支援教育コーディネーターの養成	①	⑤	⑧		①	②	③	
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	③	④	⑤	⑥	①	③	⑧	
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤	⑥	①	②	③	⑥ ⑧
その他（ ）								

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点				課 題			
①	①	②			①	③	⑧	
②	①	②			①	③	④	⑥ ⑧
④	①	②	⑤		①	②	③	④ ⑧

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	④	⑤
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	②	⑥	⑦
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
③	集合型とオンラインなど、それぞれの研修効果を踏まえた形態の検討、実施
④	学校支援や所内研修等を通じた研さん

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①②⑤⑥
-------------------	------

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	⑤200人以上
------------	---------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①
------	---

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①③⑤
------	-----

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①⑤⑥
-------	-----

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側においてICT等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
11	群馬県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	⑤	⑥	⑦	⑧	①	②	④	⑦	⑨
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	②	⑤	⑥	①	④	⑥	⑨	
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤	⑥	⑦	①	②	③	⑥
その他（ ）									

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点				課 題				
①	④	⑥	⑩		①	⑥	⑧	⑨	
⑤	①	②	⑥	⑩	①	③	④	⑨	
⑧	⑥	⑩			②	④	⑨		

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	④
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	③	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	④	⑤
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	②	⑦	⑧
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	研修内容によって、オンデマンドの活用等を取り入れ、ハイブリッド研修を実施する予定である。
②	県や市教委、関係機関と研修内容等が重ならないよう、連携しながら実施する。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①②③
-------------------	-----

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	⑤200人以上
------------	---------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①②③
------	-----

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②③⑤
------	------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	②⑤⑥⑦
-------	------

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

・受講者への意欲喚起を含めた環境づくりを所属に任せることになる。

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

特になし

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
に向けた研修の取組

機関番号	機関名
12	埼玉県立総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	④	⑤	⑧	⑨	①	②	③	⑧	
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	⑤				①	②	③	⑧	
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	④	⑩		①	②	③	⑥	⑨
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
②	①	②	④	⑩		①	②	③	⑥	⑨
⑥	①	⑨	⑩			①	②	③	⑧	
⑩	①	②	③	⑩		①	③	⑧	⑨	

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	③	④
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	④	⑤
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	②	⑤
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	関係諸機関と連携した情報収集及び若手講師の育成や発掘を図る
③	オンライン研修を積極的に取り入れ、講師数の精選及び教職員の負担軽減を図る

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①②③④⑤⑥
-------------------	--------

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	⑤200人以上
------------	---------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①②③④⑦
------	-------

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑧事前調査を実施
- ⑨その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②③④⑤
------	-------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①③④⑤
-------	------

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

オンライン研修で使用する動画等の個人情報や著作権に関する取扱いについて

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
13	千葉県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題			
特別支援教育コーディネーターの養成								
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③	⑩		②	⑥	⑧	
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤	⑩	②	⑥	⑧	
その他（ ）								

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点				課 題			
①	①				②	④	⑧	
⑤	①	⑥			②	④	⑧	
⑧	①	③	⑥		⑧			

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	②	③	
---------	---	---	--

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	②	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	③	⑤
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	②	③	⑩
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	国や県の動向を含めた概論的講義と学校現場における実践発表やグループ協議等を織り交ぜた、受講生の専門性を高めつつ主体的に取り組む研修内容の工夫
③	対面研修、対面研修とZoomによるオンライン研修のハイブリッド研修、Zoomによるオンライン研修、録画によるオンデマンド研修といった様々な研修形態の工夫

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	②、⑥
-------------------	-----

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	④100～200人
------------	-----------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①、③
------	-----

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①、②、③、④、⑤
------	-----------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①、②、③、④、⑥
-------	-----------

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
14	東京都教職員研修センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	③	⑥	⑨	⑧	①	③			
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	③	⑧	⑨			③				
特別支援学級担当者の指導力向上	②	⑥	⑧	⑨	⑪	②	⑧	⑨		
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
③	②	⑥	⑧	⑨		③				
④	①					②				
⑪	①	③				①				

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑤
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	⑤	⑦
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	④	⑤	⑥
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	受講者のニーズに応じた研修講師の選定
②	Nitsの研修動画の活用等、受講者が選択して特別支援教育に関する情報を得る機会を設定する。
③	集合研修とオンライン研修の充実

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無 ①実施している

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無 ①ある

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ ③⑤

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模 ⑤200人以上

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法 ③YouTube等のオンデマンド

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態 ①⑦

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②
------	----

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①②④⑤⑥⑦
-------	--------

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

授業観察において、得られる情報の少なさ。

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

- ・島しょ地区等の教員が受講しやすい。
- ・繰り返し視聴することができるため理解を深めることができる。

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
に向けた研修の取組

機関番号	機関名
15	神奈川県立総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点			課 題		
特別支援教育コーディネーターの養成	①	③	⑧	③	④	
教育相談や心理検査にかかる専門性向上						
特別支援学級担当者の指導力向上	⑤	⑩		④	⑥	
その他（ ）						

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点			課 題		
①	⑥			③		
②	⑩			④	⑥	
⑤	⑥	⑩		④		

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	③	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	③	④
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	⑥	⑩
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
③	オンライン等の活用や実施時期について検討

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	② ③
-------------------	-----

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	⑤200人以上
------------	---------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
------	---------------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	① ②
------	-----

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①	②	④	⑤
------	---	---	---	---

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①	②	③	④
-------	---	---	---	---

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側においてICT等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
に向けた研修の取組

機関番号	機関名
16	新潟県立教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	⑦	⑧	⑨	⑤				
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①					⑤				
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤	⑦	⑩	⑤				
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（特別支援教育におけるICT活用）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	①	④				①				
②	①	②	⑤			④				
③	①	②	⑤			④				

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（障害のある子どもの学びを促すICT活用講座）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑥
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	④	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	⑤	⑦
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	②	⑥	⑧
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	研修講座に、NITSやNISE等の研修動画の活用

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①
-------------------	---

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	⑤200人以上
------------	---------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①、②、③
------	-------

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①、②、③、④、⑤
------	-----------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

--

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①、②、⑤、⑥
-------	---------

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

--

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

--

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上に向けた研修の取組

機関番号	機関名
17	富山県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点			課 題			
特別支援教育コーディネーターの養成	⑩	①		①	②	④	⑤
教育相談や心理検査にかかる専門性向上				③	①		
特別支援学級担当者の指導力向上	①			⑧	④		
その他（ ）							

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（訪問研修の実施及び指導助言）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率の運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点			課 題			
①	①	③	⑥	①	③	⑨	
②	⑤	⑩	⑪	⑥	⑧		
⑥	①	④	⑥	②	⑧	⑨	

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修
⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり
⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	⑥	⑦
---------	---	---	---

①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	④
------	---

①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	③
-----	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
③	講座において、効果的に演習や協議など取り入れる。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無 ①実施している

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無 ②作成中

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ ③講義の動画

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模 ③50～100人

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法 ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態 ① ② ③

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット ② ③ ⑤

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

--

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	① ④ ⑤
-------	-------

- ① 受講者側の通信環境が不十分
- ② 各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③ 運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④ 運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤ 受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥ 受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦ その他

--

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

オンライン研修に関しては、メリットもありデメリットもあると考えられる。 当センターにおいては、できるだけ参集による研修を考えている
--

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
18	石川県教員総合研修センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題			
特別支援教育コーディネーターの養成	①	③	⑤		⑥			
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	⑤			⑦	⑧	⑨	
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤	⑧	②	⑥	⑧	
その他（ ）								

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（障害種別の研修の実施）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点				課 題			
②	①	②	⑤	⑧	⑥	⑧		
③	①	②	⑤	⑦	③	⑧		
⑥	④	⑪			③	⑥		

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	③	④	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	④	⑤
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	③	⑧	⑩
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
に向けた研修の取組

機関番号	機関名
19	福井県特別支援教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	⑤	⑥	⑨	④	⑥	⑦		
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	⑦				①	⑧			
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③	⑧		①	⑥	⑦		
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	①	②	③	⑦	⑩	①	④	⑥	⑨	
④	①	②	③	⑨	⑩	③	⑨			
⑨	①	②	⑦	⑨	⑩	①	⑤	⑧	⑨	

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	②	③	⑦
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	④	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	②	③
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	⑦	⑩
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
②	県、市町教育委員会と連携した地域の課題やニーズに応じた研修
③	オンライン研修の有効な活用

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	③検討中
----------	------

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①③
-------------------	----

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	④100～200人
------------	-----------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①③④
------	-----

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②③⑤
------	------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	②⑤⑥
-------	-----

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上に向けた研修の取組

機関番号	機関名
20	山梨県総合教育センター相談支援センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題			
特別支援教育コーディネーターの養成	①	③	⑤	⑥	⑩	①	②	③	⑥
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③	⑤	⑥		①	②	④	⑨
特別支援学級担当者の指導力向上	①	⑤	⑥	⑧	⑩	①	②	③	⑥
その他（ ）									

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
②	⑤	⑥	⑧	⑩		①	②	③	⑤	⑥
⑤	②	④	⑥			①	③	④		
⑧	①	③	⑥			①	②	③	④	⑥

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修
 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり
 ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	②	③	④
---------	---	---	---

①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	②	⑥
---------	---	---	---

①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	②	⑤
------	---	---	---

①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	②	⑥	⑧
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	ニーズを把握するためのアンケート実施、講師選定に向けた情報収集
③	内容によってはオンライン、オンデマンドでの配信などを検討
④	指導主事自身の研修の機会の確保

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無 ①実施している

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無 ①ある

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ ①②③⑥

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模 ④100～200人

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法 ①Zoom等の同時双方向型

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態 ①②④⑦

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット ①②③⑤

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

--

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	<input checked="" type="checkbox"/> ① <input checked="" type="checkbox"/> ③ <input checked="" type="checkbox"/> ④ <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> ⑥
-------	---

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側においてICT等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

--

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

--

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上に向けた研修の取組

機関番号	機関名
21	長野県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題			
特別支援教育コーディネーターの養成	⑤				④			
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	④			③			
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤	⑪	①	③	⑤	⑦
その他（ ）								

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（研修動画作成）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率の運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点				課 題			
①	①	②			①	③		
④	①	②			①	③	④	
⑤	①	②	④	⑥	①	③		

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の専門研修
⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点からの授業づくり
⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	②	④	⑥
---------	---	---	---

①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	⑤	⑥
---------	---	---	---

①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりやネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	⑤	⑦
------	---	---	---

①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	⑥	⑦
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	受講者のニーズの把握、県教委主催の研修との内容調整
④	外部研修への参加
⑤	他教科等の研修講座での特別支援教育の視点からの授業づくり研修

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（他教科等との連携）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	③ ④ ⑤ ⑦
-------------------	---------

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

「単元構想シート」など授業づくりに役立つデータ

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	③50～100人
------------	----------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	① ③ ⑦
------	-------

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	① ③ ④ ⑤
------	---------

- ① 遠方の方も参加することができる
- ② 施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③ 遠方から講師を招聘できる
- ④ チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤ 出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥ その他

--

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	⑤ ⑥ ⑦
-------	-------

- ① 受講者側の通信環境が不十分
- ② 各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③ 運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④ 運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤ 受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥ 受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦ その他

教材を紹介し合う、1つの指導案などをグループで練り合う、 近隣の学校同士で情報交換する等が十分できない
--

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

自校で研修に参加できることにより、急な子ども対応が求められることもあり、 研修に集中できない状態も見受けられる。

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
22	岐阜県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	⑤	⑥	⑨		①	②	⑤	⑧	
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③	⑨			②	③	⑤	⑧	⑨
特別支援学級担当者の指導力向上	①	③	④	⑤	⑥	①	②	⑤	⑧	
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	①	④	⑨	⑦		②	⑤	⑧		
③	①	④				②	⑤	⑧		
④						①	②	③	⑨	

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	③	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	③	④	⑤
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	⑤	⑥
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	研修後アンケート結果等から受講者のニーズを把握し、次年度以降の講座を構築する。
①	特別支援学校対象の講座を障がい種別に構築する。
③	「教員のキャリアステージにおける資質の向上に関する指標」に沿って、今年度の研修について検証し、次年度以降の研修を整理・構築する。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	④作成予定なし
----------	---------

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	
-------------------	--

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	④100～200人
------------	-----------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
------	---------------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①②③⑦
------	------

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②⑤
------	-----

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	②⑥
-------	----

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上に向けた研修の取組

機関番号	機関名
23	静岡県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかる専門性向上										
特別支援学級担当者の指導力向上										
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
④	①	③				②	④	⑥		
⑥	①	③				②	④	⑥		

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	②	⑤
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	②	⑤
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
③	集合とオンラインを選択して受講できる研修の実施

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①、③、⑤、⑥
-------------------	---------

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	④100～200人
------------	-----------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①、③
------	-----

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①、②、③、⑤
------	---------

- ①遠方の方も参加することができる

- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①、⑤、⑥
-------	-------

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
24	愛知県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	③	⑥			①	③			
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③	⑥			①	③			
特別支援学級担当者の指導力向上	①	③	⑥			①	③	⑥		
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
③	①	③	⑥			①	③	⑥		
⑥	①	⑨	⑩			①	②			
⑩	⑤					③				

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	④	⑦
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	②	③	⑩
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
③	・オンライン研修の充実

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無 ②実施予定なし

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無 ①ある

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ ⑤

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模 ⑤200人以上

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法 ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態 ①

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット ①②⑤

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

--

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	②⑤⑥
-------	-----

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

--

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

--

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
25	三重県教育委員会事務局

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題			
特別支援教育コーディネーターの養成								
教育相談や心理検査にかかる専門性向上								
特別支援学級担当者の指導力向上	④	⑤	⑨	⑩	②			
その他（ ）								

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点				課 題			
①	④	⑩			⑤			
②	④	⑩			②	⑨		
⑦	④	⑩			⑨			

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	⑥	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①
------	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	②	⑥
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
③	特別支援教育に係る研修受講者は増加傾向にあり、インターネットを活用した研修支援の工夫やオンデマンド教材の充実。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	③
-------------------	---

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	④100～200人
------------	-----------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①
------	---

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②③⑤
------	------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①②⑤
-------	-----

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
26	滋賀県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
	①	③	⑧	⑩		②	④			
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	④					②				
特別支援学級担当者の指導力向上	①	④	⑤			②	⑥	⑦		
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（福祉機関との連携）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
	②	③	⑥	⑦		①	④	⑩		
②						①	④	⑩		
③						①	②	④		
⑥						④			③	④

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	②	③	⑤
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	②	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	②	④
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	②	⑧
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	喫緊の課題と受講者のニーズを敏感に察知し、研修内容に反映する。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	⑦
-------------------	---

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

教育相談に関わるチェックシート等

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	⑤200人以上
------------	---------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
------	---------------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①②④
------	-----

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②④
------	-----

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

--

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①②⑤⑥
-------	------

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

--

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

--

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
27	京都府総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題			
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	⑥	⑨	①	⑤	⑥	
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	⑥			②			
特別支援学級担当者の指導力向上	①	⑤	⑨		①	②	⑧	
その他（ ）								

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（専門性の高い内容実施）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点				課 題			
⑨	②	⑩			⑥	⑧		
⑪	②	⑪			①	⑧		

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（視覚障害）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑥
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	⑥	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	②	③	④
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	⑤	⑦	⑩
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	より受講者及び期待する研修成果の達成に向けた講師選定
②	京都府スーパーサポートセンターの実施研修等との連携及び区別化
③	オンライン・オンデマンド研修の活用

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	②作成中
----------	------

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①、⑤、⑥、⑦
-------------------	---------

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

当センターで実施しているプロジェクト研究の研究報告書

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	⑤200人以上
------------	---------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
------	---------------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①、②、⑦
------	-------

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①、②、③、④、⑤
------	-----------

- ① 遠方の方も参加することができる
- ② 施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③ 遠方から講師を招聘できる
- ④ チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤ 出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥ その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①、⑥
-------	-----

- ① 受講者側の通信環境が不十分
- ② 各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③ 運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④ 運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤ 受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥ 受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦ その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
28	大阪府教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題			
特別支援教育コーディネーターの養成								
教育相談や心理検査にかかる専門性向上								
特別支援学級担当者の指導力向上								
その他（ ）								

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点				課 題			

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫				
---------	--	--	--	--

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫				
---------	--	--	--	--

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法				
------	--	--	--	--

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題				
-----	--	--	--	--

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	
------	--

- ① 遠方の方も参加することができる
- ② 施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③ 遠方から講師を招聘できる
- ④ チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤ 出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥ その他

--

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	
-------	--

- ① 受講者側の通信環境が不十分
- ② 各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③ 運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④ 運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤ 受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥ 受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦ その他

--

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

--

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
29	兵庫県立特別支援教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
	①	②	⑧	⑨	⑩	①	②	④	⑤	⑨
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかる専門性向上										
特別支援学級担当者の指導力向上										
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
	①	②	⑨			①	②	⑥	⑧	⑨
②										
③										
⑥										

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑥
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	④	⑤
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	④	⑤
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	②	③	⑤
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	本県の教育課題及び受講者のニーズに即した研修内容の企画
④	担当指導主事の専門性向上のための所内研修の実施

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①②③④
-------------------	------

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	③50～100人
------------	----------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
------	---------------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①②③⑦
------	------

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②③⑤
------	------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

--

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①③⑤⑥
-------	------

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

--

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

<p>オンライン研修（同時双方向型）実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 選択研修：全13講座のうち0回・ 初任者研修：全22回のうち1回・ 中堅教諭等資質向上研修：共通研修全4回のうち1回

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
30	奈良県教育委員会事務局特別支援教育推進室

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入り反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点			課 題		
特別支援教育コーディネーターの養成	①	⑤	⑦	②	⑦	
教育相談や心理検査にかかる専門性向上						
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤	④	⑦	⑧
その他（ ）						

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点			課 題		
①	④			①	④	⑦
③	②			①	④	⑦

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	③	④	⑤
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	④	⑤
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	⑥	⑧
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
③	現在、集合、遠隔、オンデマンド等の形態で研修を実施している。今後も、研修内容とともに、受講者のニーズに合った研修形態について検討する。
④	全国特別支援教育センター協議会研究協議会の参加についても、研さんの一貫だと考えるため、指導主事の遠隔による参加を積極的に行う。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①③
-------------------	----

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

文部科学省、国立特別支援教育総合研究所の資料等のURLをアップしている。

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	③50～100人
------------	----------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

研修の内容によって規模や実施方法が異なる。協議を行う場合は50～100人程度で同時双方向型を実施。講義・講演のみの場合は、200人以上で同時双方向とオンデマンドの組み合わせを行っている。

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①②
------	----

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②③⑤
------	------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	②⑤⑥
-------	-----

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

・オンデマンドで研修を実施する際、受講者の目的達成や教育活動にどのように活かしていくかなどの振り返りを行っているか。

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
に向けた研修の取組

機関番号	機関名
31	和歌山県教育センター学びの丘

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③	⑥			④				
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤	⑥		①	②	③		
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	①	②				②	③	④	⑨	
③	②	⑨				①	②	③	⑨	
⑤	①	②	⑥			①	③	④	⑨	

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	②	③	⑦
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	③	⑥	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	②	⑤
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	②	④	⑥
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	オンラインを積極的に活用し、受講者のニーズに合った講師を招聘すること
②	学校現場や教育行政との連携

--	--

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他 ()

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①、③
-------------------	-----

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	③50～100人
------------	----------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
------	---------------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①、②、③、⑦（発表）
------	-------------

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①、③、⑤
------	-------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

--

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①、③、⑤
-------	-------

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側においてICT等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

--

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

--

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
32	鳥取県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点		課 題			
特別支援教育コーディネーターの養成						
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	⑤				
特別支援学級担当者の指導力向上	①	⑤				
その他（ 新任特別支援教育主任研修 ）	①	⑤				

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点		課 題			
②	①	⑤				
⑤	①					
⑥	①					

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑥
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	⑤	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法			
------	--	--	--

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	⑥	⑦
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	④作成予定なし
----------	---------

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	
-------------------	--

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	⑤200人以上
------------	---------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①②③
------	-----

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②⑤
------	-----

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	⑤
-------	---

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

受講者の感想より、対面での研修を希望する声がある。

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
33	島根県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題			
特別支援教育コーディネーターの養成	①	⑧			①	③	④	
教育相談や心理検査にかかる専門性向上								
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤		①	④	⑧	⑨
その他（ ）								

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（希望者によるオンライン研修の実施）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点				課 題			
②	①	④	⑪		①	⑧	⑨	
⑥					⑥	⑧		

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	④	⑤
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	②	⑤
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	⑥	⑦
-----	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
②	各教育事務所等の会議に参加し、県内の現状や課題について、また地域で実施している研修について情報共有を行う。
③	研修の目的等に応じて、集合研修、オンライン研修、オンデマンド研修等様々な研修を組み合わせて実施する。
④	センター内で自主研修を行ったり、他機関と情報共有を行ったりする。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①③
-------------------	----

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	⑤200人以上
------------	---------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①②③⑤⑦
------	-------

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②③⑤
------	------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①⑤⑥
-------	-----

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
34	岡山県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入り反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題			
	①	②	⑥	⑩	①	②	⑨	
特別支援教育コーディネーターの養成								
教育相談や心理検査にかかる専門性向上								
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②			②	④		
その他（ ）								

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（eラーニング）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点				課 題			
	①	②	⑨	⑩	①	②	⑨	
②								
④	①	②	⑩		⑩			
⑨	①	②						

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	④	⑤	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	④	⑤
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	③	④	⑦
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	学校講師選定においては、経年研での様子から、また、外部講師選定においては、聞き取りなどから行う。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無 ①実施している

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無 ①ある

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ ①②⑥

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模 ③50～100人

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法 ①Zoom等の同時双方向型

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態 ①②⑦発表

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット ①③④⑤

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

--

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①②③⑤
-------	------

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

--

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

--

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
35	広島県立教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	⑩				⑦				
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①					②				
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②				⑨				
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
⑦	⑩	④	②			③				
⑥	①	②	⑩			③				

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑥
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	⑥	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	⑤	⑦
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	⑤	③	⑩
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	夏休みの特別支援教育に係る校内研修として、複数の学校がオンラインで参加できる 内容（困難さに応じた指導・支援について）

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他 ()

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	① ② ③ ⑥
-------------------	---------

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	⑤200人以上
------------	---------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
------	---------------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①②③⑦
------	------

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①③④
------	-----

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①④⑤
-------	-----

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

特になし

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
に向けた研修の取組

機関番号	機関名
36	やまぐち総合教育支援センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題			
特別支援教育コーディネーターの養成								
教育相談や心理検査にかかる専門性向上								
特別支援学級担当者の指導力向上								
その他（特別支援教育コーディネーターの専門性向上）	②	⑤	⑩	⑪	⑤	⑨		

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（実践発表者を変えた情報交換）
⑫その他2（著名講師による講義） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点				課 題			
③	①	②	⑨	⑫	③			
⑤	②	⑥	⑫		①			
⑨	②	⑦	⑫		⑧			

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑦
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	②	④	⑤
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	②	④
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	研修内容のニーズ、業務に関する課題等について、学校訪問等の機会を捉えて特別支援教育コーディネーターから担当域内に関する情報収集を実施
②	研修内容について、特別支援教育推進室（県教委）との情報共有

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	④作成予定なし
----------	---------

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	
-------------------	--

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	⑤200人以上
------------	---------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①②③⑦
------	------

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②③⑤
------	------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	②③⑤
-------	-----

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

特になし

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
に向けた研修の取組

機関番号	機関名
37	徳島県立総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力から反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	③	⑤			①	②	⑨		
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	⑤	⑦			①	②	⑨		
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③	⑤	⑦	②	⑥	⑨		
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
②	①	⑦	⑧			②	⑥	⑨		
③	①	③				②	⑨			

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	②	③	⑦
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	③	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	④	⑤
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	②	④	⑧
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ センターの機能の活用 ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①②③④⑥
-------------------	-------

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	④100～200人
------------	-----------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
------	---------------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①②③④⑦
------	-------

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②③⑤
------	------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

--

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①⑤
-------	----

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

--

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

--

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
38	香川県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	③	⑤	⑥	⑧	①	⑧			
教育相談や心理検査にかかる専門性向上										
特別支援学級担当者の指導力向上	①	③	⑤	⑥	⑧	②	⑥			
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
②	①	③	④	⑤	⑧	⑥				
④	①	②	③	⑤	⑧	②	⑥			
⑥	①	③	④	⑤	⑥	②				

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑤
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	③	④	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	③	⑤
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	②	③	⑥
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	時代やニーズに合った研修内容及び講師の選定
③	オンラインを利用したハイブリット型研修の選定

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	① ② ③ ④ ⑤
-------------------	-----------

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	③50～100人
------------	----------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①②③④
------	------

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①③⑤
------	-----

- ①遠方の方も参加することができる

- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

--

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①⑤
-------	----

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

--

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

市町ごとに使う会議システムが異なっている。県立学校のみの場合は Microsoft TEAMS、幼稚園こども園含む小中学校は WEBEX を使うことが多い

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機 関 名
39	愛媛県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題			
特別支援教育コーディネーターの養成	①	⑥	⑪		①	②	④	
教育相談や心理検査にかかる専門性向上								
特別支援学級担当者の指導力向上	①	④	⑥	⑪	①	②	④	
その他（ ）								

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（研修形態の工夫）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率の運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点				課 題			
③	①	⑩			①	④	⑨	
⑥	①	④			①			
⑨	⑩	⑪			①	④	⑧	

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	⑥	⑥	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	②	⑤	⑦
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	⑥	⑧
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	受講者同士の協議や演習など、体験を伴う研修を実施するとともに、受講者のニーズを把握し、講師選定に生かす。
②	他機関が実施している研修等の情報共有を行い、関連する研修について受講者に情報提供を行う。また、他機関が実施した講座の内容を把握し、講座に生かす。
④	最新の情報を収集したり、学校現場や教員のニーズを把握したりして、実践的な研修内容となるようにする。他機関が開催している研修会等に積極的に参加する。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①②⑤
-------------------	-----

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	③50～100人
------------	----------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	④その他
------	------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

同時双方向型とオンデマンドの組合せ、オンデマンドと集合開催の組合せ

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①
------	---

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①③
------	----

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	②⑤⑥
-------	-----

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側においてICT等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

オンライン研修を実施する場合、班別協議や演習を行うことが難しい。受講者の人数によっては、実施可能だが、受講者数が多い場合、運営側の対応できる人数の都合により、実施できないことがあった。オンライン研修で協議、演習を行う際、どのような工夫をされているか、教えていただきたい。

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
40	高知県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題			
特別支援教育コーディネーターの養成								
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③			②	④	⑧	
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	④	⑧	③	④	⑥	⑧
その他（ ）								

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点				課 題			
③	①	②			①	③		
⑤	①	③			①	②		
⑥	①	③			①	③		

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	⑤	⑥	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	③	④
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	②	⑥
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
②	特別支援教育課との事前協議

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①
-------------------	---

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	⑤200人以上
------------	---------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①
------	---

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②⑤
------	-----

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①
-------	---

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

特になし

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
41	福岡県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかる専門性向上										
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②				①	②	⑥	⑨	
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	①					①	②	⑥		
④	①	②	⑨			⑧	⑨			
⑤	①	②				①	②	⑥		

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑥
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	④	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	⑤
------	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	③	⑤	⑦
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
③	オンラインによる研修については、集合研修による実施の効果を検討し、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら効果的な研修を実施する。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	②④⑥
-------------------	-----

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	⑤200人以上
------------	---------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
------	---------------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①③
------	----

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②③
------	-----

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①②④⑤⑥
-------	-------

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機 関 名
42	佐賀県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力反映されます

1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成										
教育相談や心理検査にかかる専門性向上										
特別支援学級担当者の指導力向上										
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
②	①	②	③	⑧	⑪					
③	①	②	③	⑤	⑫					
⑤	②	⑧								

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ オンデマンド、リモート、集合の組み合わせ ）
 ⑫その他2（ リモート、集合の組み合わせ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

(1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	④
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	⑥	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

(2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	②	④	⑤
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

(1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	③	④	⑦
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
②	市町教育委員会や教育事務所等と現場のニーズの情報共有を図り、研修内容の検討等を行う
③	集合とオンラインを組み合わせた研修形態の工夫を行う

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	②
-------------------	---

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	③50～100人
------------	----------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①、②
------	-----

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①、③、⑥
------	-------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

研修に係る移動時間が無くなる

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①、⑤
-------	-----

- ① 受講者側の通信環境が不十分
- ② 各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③ 運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④ 運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤ 受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥ 受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦ その他

--

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

--

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
43	長崎県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入り反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題			
	①	④	⑤	⑩	①	②	③	
特別支援教育コーディネーターの養成								
教育相談や心理検査にかかる専門性向上								
特別支援学級担当者の指導力向上								
その他（ ）								

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点				課 題			
	①	④	⑤		①	②	③	⑥
②								
③								
⑤								

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	②	⑤
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	③	⑧
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	様々な研修形態に対応し得る研修コンテンツ・研修内容の整備及び所外の研修コンテ ンツの有効活用
③	ハイフレックス※に対応した研修内容の整備 （※集合による受講、オンライン配信による受講を同時に実施する形態）

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①②③⑤
-------------------	------

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	⑤200人以上
------------	---------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	③YouTube等のオンデマンド
------	------------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①
------	---

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②③④⑤
------	-------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

--

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①②⑤⑥
-------	------

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

--

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

特になし

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
44	熊本県立教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題			
特別支援教育コーディネーターの養成								
教育相談や心理検査にかかる専門性向上								
特別支援学級担当者の指導力向上								
その他（ 経験年数別の研修 ）	①				①			

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点				課 題			
④	①				①			
⑤	①				①			
⑥	①	⑨			②	①		

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	⑤	⑥	③
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	⑤	①	
------	---	---	--

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	②	⑥	⑧
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	アンケート結果を考察し、研修者のニーズに応じた研修内容にする。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無 ①実施している

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無 ①ある

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ ②③

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模 ⑤200人以上

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法 ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態 ①②③⑦

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②③④⑤
------	-------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①④⑤⑥
-------	------

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

特にありません。

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上に向けた研修の取組

機関番号	機関名
45	大分県教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	④	⑤	②	④	⑥	⑦	⑧
教育相談や心理検査にかかる専門性向上										
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③	④	⑤	②	④	⑥	⑦	⑧
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	①	③				②	④			
②	①	②	③	⑤	⑦	②	④	⑥	⑦	⑧
③	①	③	⑤	⑧		②	④	⑦	⑧	

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

(1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	②	①	③

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	⑥	⑦

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

(2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	②	④	⑤

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

(1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	⑧	⑦	③

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	インクルーシブ教育の推進に関する研修
③	受講者の特別支援教育に関する専門性の違いに対応する研修形態

①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①⑤
-------------------	----

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	④100～200人
------------	-----------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
------	---------------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

(6) (上記で挙げたオンライン研修)実施形態 (複数回答可)

実施形態	①②③⑦
------	------

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの (複数回答可)

メリット	①③④⑤
------	------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの (複数回答可)

デメリット	①⑤⑥
-------	-----

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側においてICT等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
に向けた研修の取組

機関番号	機関名
46	宮崎県教育研修センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力から反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題			
特別支援教育コーディネーターの養成	②	⑤	⑦		①	③	⑤	
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	②	⑤	⑦					
特別支援学級担当者の指導力向上	②	⑤	⑦		①	③	⑤	⑥
その他（ ）								

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点				課 題			
①	②				①	②		
②	②	⑤	⑦		①	③	⑤	⑥
⑤	②	⑪			①	②		

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ 時間設定 ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	③	⑦
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	⑤
---------	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	③	④
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	②	⑤
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	学びやすいカテゴリー（障がい種別など）で研修講座を組み立てる
③	動画コンテンツを充実させる

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無 ①実施している

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無 ①ある

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ ①

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模 ⑤200人以上

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法 ①Zoom等の同時双方向型

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態 ①②③

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②③⑤
------	------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	⑤
-------	---

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育の専門性向上の在り方

機関番号	機関名
47	鹿児島県総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入り反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	②	③	⑥	⑩	④	⑤			
教育相談や心理検査にかかる専門性向上										
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③	④	⑩	②	⑥	⑨		
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	①	②	⑦	⑨	⑩	⑤	⑧			
③	①	②	④	⑨	⑩	②	④	⑧		
⑫	①	⑦	⑨	⑩		⑧				

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（管理職対象特別支援教育の推進） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑥
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	⑤	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	④	⑦
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	③	⑧
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	受講者の特別支援教育経験年数及びスキルによって研修内容の工夫
③	受講者の増加による研修携帯の工夫

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①, ②, ③
-------------------	---------

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	②10～50人
------------	---------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①, ②
------	------

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①, ②, ⑤
------	---------

- ① 遠方の方も参加することができる
- ② 施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③ 遠方から講師を招聘できる
- ④ チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤ 出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥ その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①, ⑤
-------	------

- ① 受講者側の通信環境が不十分
- ② 各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③ 運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④ 運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤ 受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥ 受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦ その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

有意義なオンライン研修の実施方法（例えば、講義はオンライン、協議は対面というようにお互いのメリットを生かした研修の在り方）

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
に向けた研修の取組

機関番号	機関名
48	沖縄県立総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）

※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	⑥	⑩			①	②			
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	⑥				②				
特別支援学級担当者の指導力向上	①	⑥	⑦	⑩		②	⑦	⑧		
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題

（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	①	②	⑥	⑩		①	④	⑧		
④	①	②	⑥	⑧	⑩	①	②	③	④	⑤
⑪	①	②	③	⑥		①	③			

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

(1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑦
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	⑥	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

(2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	②	③
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

(1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	③	⑧
-----	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

(2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	受講者参加型のワークを多くと入れて、専門性の向上を図る。
③	理論編、実践編などニーズに応じた研修内容をオンデマンドで準備していきたい。 実際の研修においては、協議や演習などを多く取り入れる。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	① ③ ⑤
-------------------	-------

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	③50～100人
------------	----------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
------	---------------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①②④⑦
------	------

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②③
------	-----

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①②⑤⑥
-------	------

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
に向けた研修の取組

機関番号	機関名
49	千葉市養護教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題			
特別支援教育コーディネーターの養成	③	⑤	⑥	⑪	①	②	③	⑥
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③	⑥		①	③	⑨	
特別支援学級担当者の指導力向上	④	⑥			①	③	④	⑥
その他（ ）								

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（実施方法）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点				課 題			
①	③	④			①	③	⑨	
②	②	④			①	③	⑨	
⑤	①	③	④		①	③	⑨	

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項三つ選択）

研修形態の工夫	②	③	④
①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）			

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	⑤	⑥
①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫 ⑧その他（ ）			

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	③	⑦
①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）			

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	⑤	⑧
①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の 工夫 ⑪その他（ ）			

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	特別支援教育のICTを活用した教材・教具の実践例と演習についての研修の実施
③	オンラインでの実施

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①
-------------------	---

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	④100～200人
------------	-----------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5) （上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6) （上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①②③
------	-----

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②③⑤
------	------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	②④⑤⑥⑦
-------	-------

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側においてICT等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

研修資料等の配付が不十分になる。

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
に向けた研修の取組

機関番号	機関名
50	川崎市総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	③	⑤	⑥	⑪	⑧				
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	⑥				⑧				
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤	⑨	⑪	⑧				
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
③	①	④	⑤			⑧				
①	①	⑩				⑧				
⑨	①	⑩				⑧				

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	④	②
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	⑧		
---------	---	--	--

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	②	⑤
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	⑧	⑩	
-----	---	---	--

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
③	オンライン研修の実施と工夫

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無 ①実施している

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無 ③検討中

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ ①

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

公務用PCのみで共有している（インターネット上では非公開）

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模 ④100～200人

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法 ①Zoom等の同時双方向型

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態 ①②③④⑤⑥⑦

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②③④⑤⑥
------	--------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

参加者のニーズを把握し、不明な点にピンポイントで助言できる。

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①④
-------	----

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
51	横浜市特別支援教育総合センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	③	④	⑤	⑥	②	③	⑥		
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①	③				①	②			
特別支援学級担当者の指導力向上	①	⑤	⑥			①	②	③	⑥	
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	④
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	③	⑧
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ オンラインでの実施 ）

- (2) 自主的研修や校内外研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	⑥	⑧
------	---	---	---

- ①校内外研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ 研修コンテンツの作成・共有 ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	⑤	⑩
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	受講者のニーズにマッチした研修内容や体系の構築
②	NISE学びラボのコンテンツ活用と市独自の研修受講システムの両方の活用のための事務負担の軽減
③	集合研修とオンライン研修のそれぞれの有効性を生かした計画の策定と実施

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①②③④⑤⑥
-------------------	--------

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	⑤200人以上
------------	---------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	
------	--

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

①②③を実施

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①②③
------	-----

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①③⑤
------	-----

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	②⑤⑥
-------	-----

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側においてICT等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
52	名古屋市教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題			
特別支援教育コーディネーターの養成	①	③			①	②	⑧	
教育相談や心理検査にかかる専門性向上								
特別支援学級担当者の指導力向上	②	③	⑧		①	②	④	⑨
その他（ ）								

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点				課 題			
①	⑩				①	②	⑥	
②	①	②			①	②		
⑤	①	②			①	②	⑥	

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	④	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	②	③
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	②	⑤
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
③	オンラインによる研修と集合式で実施する研修の併用について、効果的な内容と方法を検討する。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	③検討中
----------	------

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①③⑥
-------------------	-----

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	②10～50人
------------	---------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
------	---------------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

Teamsのライブイベントでも実施

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①②
------	----

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②③⑤
------	------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	②⑤⑥
-------	-----

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
53	京都市教育委員会事務局指導部総合育成支援課

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点			課 題		
特別支援教育コーディネーターの養成	⑥			①		
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	⑥			①		
特別支援学級担当者の指導力向上	⑤	⑥	⑦	①		
その他（ ）						

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点			課 題		
③	④	⑤	⑥	①		

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	③	⑥
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	③	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	③	⑥
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	⑧	⑩
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
②	医療機関等との連携、講師派遣依頼

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	③検討中
----------	------

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	
-------------------	--

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	⑤200人以上
------------	---------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
------	---------------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①
------	---

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①③
------	----

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	②⑤
-------	----

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側においてICT等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
54	大阪市教育委員会事務局指導部インクルーシブ教育推進室

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	⑤	⑥	⑦	⑧	②	⑥			
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	⑥	⑩				②	⑥			
特別支援学級担当者の指導力向上	④	⑤	⑥			②	⑥			
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	④	⑤	⑥			②				
②	④	⑤				②				
③	③	⑤				②				

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑥
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	②	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	②	⑤
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	⑧	⑩
-----	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方
 工夫 ⑪その他（ eラーニングシステムの効果的な活用 ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	専門家チームによる巡回指導を活かした教員の教育実践サイクルの促進
③	オンデマンドと双方型を効果的に組み合わせた研修の開発

⑤	管理職向け研修の実施方法や情報提供の工夫
---	----------------------

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他 ()

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①②③④⑤
-------------------	-------

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	⑤200人以上
------------	---------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
------	---------------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①②③⑤⑦
------	-------

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②⑤
------	-----

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

--

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	①②⑤⑥
-------	------

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側においてICT等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

--

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

--

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
に向けた研修の取組

機関番号	機関名
55	広島市教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①	③	④	⑤	⑧					
教育相談や心理検査にかかる専門性向上										
特別支援学級担当者の指導力向上	①	③	④	⑤	⑪	⑥	⑩	⑪		
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（障害種別
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（モデルとなる授業提案） ⑪その他2（臨時的任用者の力量向上） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①	③									
②	①	③	④	⑤	⑪	⑥	⑩	⑪		
③	②	④	⑤	⑪						

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項三つ選択）

研修形態の工夫	②	③	⑧
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（f(メンター)を付けた実)

研修実施の工夫	②	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	③	④
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	③	⑩
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
①	教育センターと事務局（指導課）との連携による講師選定
③	オンライン双方向の研修の充実

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①⑥
-------------------	----

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

タブレット端末を活用した実践動画

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	③50～100人
------------	----------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
------	---------------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①②④
------	-----

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	③④⑤⑥
------	------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

特別支援学級等担任は子どもの実態から所属校を離れることが難しい場合が多が、移動時間が削減されることで可能な限り子どもとの時間を確保することができる。
--

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	⑤
-------	---

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

--

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

受講者の理解度等を把握する方法（テスト等を実施しているか）

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
に向けた研修の取組

機関番号	機関名
56	北九州市立特別支援教育相談センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
（工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	工夫した点				課題			
特別支援教育コーディネーターの養成								
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①				④			
特別支援学級担当者の指導力向上								
その他（ ）								

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
（内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内容	工夫した点				課題			
⑧	①				④			

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	⑤	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法			
------	--	--	--

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課題	②	⑧	⑩
----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
③	移動時間の削減や勤務時間内の研修時間の確保という点で、オンデマンド研修やオンライン研修などを積極的に行う。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無 ②実施予定なし

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無 ④作成予定なし

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	1, 3, 5
------	---------

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	1, 4, 5, 6
-------	------------

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
57	福岡市教育委員会発達教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内容	工夫した点	課題
特別支援教育コーディネーターの養成		
教育相談や心理検査にかかる専門性向上		
特別支援学級担当者の指導力向上		
その他（ ）		

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内容	工夫した点	課題

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫			
---------	--	--	--

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫			
---------	--	--	--

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法			
------	--	--	--

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課題			
----	--	--	--

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	
-------	--

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	
----------	--

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	
-------------------	--

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	
------------	--

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	
------	--

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	
------	--

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	
------	--

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

--

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	
-------	--

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

--

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

--

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
58	静岡市特別支援教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題			
特別支援教育コーディネーターの養成	①	③	⑨	⑩	⑧			
教育相談や心理検査にかかる専門性向上								
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	③	⑤	②	⑥		
その他（ ）								

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点				課 題			
①	①							
②	①	⑩						
③	⑧	⑩			⑨			

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各項三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）			

研修実施の工夫	⑤	②
①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫 ⑧その他（ ）		

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①
①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）	

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	③	⑧
①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の 工夫 ⑪その他（ ）			

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
②	児童相談所等福祉関係部門の担当者からの講義演習

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	④作成予定なし
----------	---------

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	
-------------------	--

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	④100～200人
------------	-----------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5) （上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6) （上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①⑦
------	----

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①②③
------	-----

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	③⑤
-------	----

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機 関 名
59	浜松市教育総合支援センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力から反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点					課 題				
特別支援教育コーディネーターの養成	①					⑥	⑩			
教育相談や心理検査にかかる専門性向上	①					⑥	⑧			
特別支援学級担当者の指導力向上	①					⑥	⑦			
その他（ ）										

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点					課 題				
①						⑦				⑨
②						⑥				⑤
③						③				⑧

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	①	②	③
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	⑤	⑦
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	⑤	⑧
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
③	オンデマンド研修やz o o mでのオンライン研修などの効果的活用

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	④作成予定なし
----------	---------

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	③(浜松市教職員イントラネット)
-------------------	------------------

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	②10～50人
------------	---------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	③YouTube等のオンデマンド
------	------------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①
------	---

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①③⑤
------	-----

- ①遠方の方も参加することができる
- ②施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③遠方から講師を招聘できる
- ④チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	②③⑤⑥
-------	------

- ①受講者側の通信環境が不十分
- ②各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
60	新潟市立総合教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力が反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題			
特別支援教育コーディネーターの養成								
教育相談や心理検査にかかる専門性向上								
特別支援学級担当者の指導力向上	①	②	⑤	⑥	③	④	⑥	
その他（ ）								

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点				課 題			
①	①	⑦			①	②	③	
②	①	②	⑤		①	②	③	⑥
⑨	①	②			①	②	③	

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑥
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	②	⑤	⑦
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	②	④
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等に対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	③	⑤
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
②	他機関のオンデマンドを利用した研修の導入
③	区単位で集合し、指導案検討や事例検討を行う研修

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無	①実施している
-------	---------

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無	①ある
----------	-----

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ	①, ③, ⑤, ⑥
-------------------	------------

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

--

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模	④100～200人
------------	-----------

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法	①Zoom等の同時双方向型
------	---------------

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

--

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態	①, ③
------	------

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

--

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①, ②, ⑤
------	---------

- ① 遠方の方も参加することができる
- ② 施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③ 遠方から講師を招聘できる
- ④ チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤ 出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥ その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	②, ③, ⑤
-------	---------

- ① 受講者側の通信環境が不十分
- ② 各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③ 運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④ 運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤ 受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥ 受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦ その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等

第46回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（愛媛県大会）聴取事項調査票

第2分科会
 研修に関する事項
 特別支援教育を担う全ての教師の専門性向上
 に向けた研修の取組

機関番号	機関名
61	相模原市 教育センター

※機関番号、機関名は、第1分科会の入力が入力反映されます

- 1 特別支援教育を推進する教員（コーディネーター等）を対象とした研修の工夫と課題
 （工夫、課題について選択 複数可（五つまで） 未実施の内容については無記入）
 ※各欄で、ドロップダウンリストから該当する選択肢番号を選んで回答

内 容	工夫した点				課 題			
	①	⑤	⑦	⑨	②	④	⑨	
特別支援教育コーディネーターの養成								
教育相談や心理検査にかかる専門性向上								
特別支援学級担当者の指導力向上	①	⑤	⑥		①	②	⑨	
その他（ ）								

<工夫した点>

- ①演習と協議を実施 ②授業参観や実践発表実施 ③事例検討会の実施・工夫 ④コースやテーマの分化
 ⑤該当職務の新任者の研修実施 ⑥レベルアップ、ステップアップ研修の実施 ⑦地域・地区別の研修実施
 ⑧校種別の研修実施 ⑨異校種間の実践交流 ⑩現状の把握と課題の焦点化 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

<課題>

- ①ニーズに応じた講義・演習内容の設定 ②受講対象者の力量差 ③研修者のニーズに合った研修体系
 ④レベルアップ、スキルアップ研修の実施 ⑤幼稚園、高校対象の研修実施 ⑥受講者増加に伴う効率的運営
 ⑦研修内容について地教委等との調整・連携 ⑧受講成果の地域、各校での還元についての評価 ⑨指導者・
 講師の確保 ⑩その他1（ ） ⑪その他2（ ） ⑫その他3（ ）

- 2 1以外の特別支援教育に関する研修の工夫と課題
 （内容は3つまで選択 工夫、課題については1の選択肢から選択（複数可 五つまで））

内 容	工夫した点				課 題			
	①	③	④	⑤	①	⑨		
③								

<内容>

- ①通常の学級における発達障害の理解と支援 ②新任特別支援学級等担当者研修 ③通級指導教室専門研修
 ④特別支援学校対象の専門的研修 ⑤特別支援学級や特別支援学校対象の専門講座 ⑥特別支援教育全般の
 専門研修 ⑦特別支援教育の今日的課題 ⑧心理検査の実施と解釈 ⑨通常学級における特別支援教育の観点
 からの授業づくり ⑩幼稚園や高等学校に特化した研修講座 ⑪その他1（ ）
 ⑫その他2（ ） ⑬その他3（ ）

- 3 研修の効果的な在り方と受講者の自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援

- (1) 研修の効果的な在り方（講座の持ち方等の工夫について効果的と考えるものを各三つ選択）

研修形態の工夫	①	②	⑤
---------	---	---	---

- ①協議 ②演習 ③事例検討 ④体験 ⑤ロールプレイ ⑥発表 ⑦事前調査実施 ⑧その他（ ）

研修実施の工夫	③	⑤	⑥
---------	---	---	---

- ①選択制 ②障害種別 ③経験年数別 ④地域の学校との連携（会場使用、参観等） ⑤協議の深まりや
 ネットワークづくりを意識したグループ編成 ⑥ニーズに合った講師の招聘 ⑦時間・時期の工夫
 ⑧その他（ ）

- (2) 自主的研修や校園内研修の充実に向けての支援（実施している支援方法のうち主なものを三つ選択）

支援方法	①	③	⑤
------	---	---	---

- ①校園内研修等への主事の派遣 ②出前講座を実施 ③休日、夜間、長期休業中の講座・相談セミナー等の開催
 ④文献、視聴覚資料、検査器具等の貸し出し ⑤Webページ等による情報提供 ⑥計画的にセンター以外の
 会場で研修を設定 ⑦指導方法やアセスメントについて電話、メール等で対応 ⑧その他（ ）

- 4 特別支援教育に関する研修を企画・運営するにあたっての課題と今後考えられる方策

- (1) 課題（考えられる主なものを三つ選択）

課 題	①	⑧	⑩
-----	---	---	---

- ①受講者のニーズの違いへの対応 ②ニーズに応じた研修実施のための人的、予算的条件整備
 ③研修講座の増設、受講者数の拡大等の困難さ ④研修講師の不足・確保 ⑤担当指導主事の不足
 ⑥センターの主事自身の専門性の向上 ⑦県・市教委が行う施策・研修との調整による効率化
 ⑧管理職への特別支援教育に関する研修 ⑨研修会場確保のための予算措置 ⑩時間・会場等、講座開設方法の
 工夫 ⑪その他（ ）

- (2) 今後考えられる方策の主なものを選択し、具体的な内容を記入（最大三つ）

研究の内容	具体的な内容
③	集合、オンライン、中学校区ごとに集合してオンライン研修など、研修内容や効果に 合わせて研修の形態を選択することが可能である。
②	相談支援チーム（教育委員会内各課、特別支援学校、発達支援センターなど）と連携 して今日的課題に対応した研修を開くことが可能である。

- ①研修内容及び講師選定の工夫 ②他機関との連携 ③研修形態の工夫 ④指導主事の研さん
 ⑤その他（ ）

5 インターネットを活用した特別支援教育に関する研修支援について

(1) Zoom等のテレビ会議システムを活用したオンライン研修実施状況

実施の有無 ①実施している

- ①実施している
- ②実施予定なし

(2) 貴機関のホームページにおける「特別支援教育に関する研修コンテンツ」の有無

コンテンツの有無 ①ある

- ①ある
- ②作成中
- ③検討中
- ④作成予定なし

(3) 公開している（公開予定の）「特別支援教育に関する研修コンテンツ」（複数回答可）

特別支援教育に関する研修コンテンツ ①、③

- ①ガイドブック等の冊子
- ②プレゼンテーション資料
- ③講義の動画
- ④デジタル教材（ダウンロード可）
- ⑤教材・教具のデータベース
- ⑥学習指導案のデータベース
- ⑦その他

(4) オンライン研修について、対応している規模

オンライン研修の規模 ⑤200人以上

- ①10人以下
- ②10～50人
- ③50～100人
- ④100～200人
- ⑤200人以上

(5)（上記で挙げたオンライン研修）実施方法

実施方法 ①Zoom等の同時双方向型

- ①Zoom等の同時双方向型
- ②同時双方向とオンデマンドの組み合わせ
- ③YouTube等のオンデマンド
- ④その他

(6)（上記で挙げたオンライン研修）実施形態（複数回答可）

実施形態 ①、②、③

- ①講義・講演
- ②協議
- ③演習
- ④事例検討
- ⑤体験
- ⑥ロールプレイ
- ⑦発表
- ⑦事前調査を実施
- ⑦その他

(7) オンライン研修のメリットとして感じられるもの（複数回答可）

メリット	①、②、③
------	-------

- ① 遠方の方も参加することができる
- ② 施設の収容数以上の方が参加することができる
- ③ 遠方から講師を招聘できる
- ④ チャット等の活用など、活発な質疑応答や意見交換ができる
- ⑤ 出張費や会議費等のコスト削減ができる
- ⑥ その他

(8) オンライン研修のデメリットとして感じられるもの（複数回答可）

デメリット	②、⑥
-------	-----

- ① 受講者側の通信環境が不十分
- ② 各個人への質問等に対するフィードバックが不十分
- ③ 運営側において I C T 等に係る専門分野の職員が不足
- ④ 運営側において通信環境を含む設備面が不十分
- ⑤ 受講者同士の交流の機会の不足
- ⑥ 受講者と講師とのコミュニケーションが円滑にできない
- ⑦ その他

(9) オンライン研修について、その他共有しておきたい情報等